

令和5年9月25日

会員各位

(一社)徳島県歯科技工士会
生涯研修実行委員会



一般社団法人 徳島県歯科技工士会

第 101 回生涯研修(自由研修課程)開催のご案内

清秋の候 会員各位におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本会生涯研修の運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会生涯研修実行委員会は、下記日程にて第 101 回生涯研修(自由研修課程 6 単位)を開催いたします。

新型コロナウイルス感染症に加え、季節外れのインフルエンザも流行しているようでございます。会場受講に加え On-Line(ZOOM)でも参加いただけますので、会場での受講をお控えいただき、On-Line にて受講くださいますよう、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

何かとご多用とは存じますが、万障お繰り合わせいただき、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

—記—

1. 日 時 : 令和5年10月29日(日) Am.9:30~Pm12:30 (受付9:00より)
2. 会 場 : 一般社団法人 徳島県歯科技工士会事務所
(徳島市八万町大坪264-3)
3. 演 題 : ①『総義歯製作の上手いくポイントとは』
②『歴史からみた排列基準の変遷』
講師 : 生田 龍平(いくた りゅうへい)先生
日本歯科技工士会 認定講師
4. 参加費 : 無料(会費充当)
5. 申込先 : 徳島県歯科技工士会 生涯研修実行委員会
E-mail : info@t-shigi.com
T E L : 090-2890-0090 (受付担当:山田)

※ 電話でのお申し込みの際にはメールアドレスをお知らせください。

6. 受付期間 : 令和5年9月29日(金)~10月23日(月)

E-mailアドレス
QRコード



7. 募集定員 : 会場 10名 Web 80名

2023年10月29日

徳島県歯科技工士会 生涯研修（自由研修課程）

演題

- ①「総義歯製作の上手くいくポイントとは」
- ②「歴史からみた排列基準の変遷」

講師：生田龍平

<抄録>

総義歯の歴史をたどればギージーのフルバランスドオクルージョンや歯槽頂間線法則は皆さんご存知の通りだと思います。さらにさかのぼるとボンウィルの3点接触咬合理論などフルバランスの原型になる理論もあります。なぜそのような理論が生まれたのかを考えて行きたいと思います。そして先人達が発表したその理論は現在も脈々と受け継がれていると思います。例えば歯槽頂間線法則は食物を噛んだ時に義歯床が出来るだけ動かない事を目的とし、その考え方はリングライズドオクルージョンに発展して行きます。フルバランスドオクルージョンについても咀嚼時の咬合面のあり方で現在はどの様に顎運動をするかによっても変わって来ると思います。また歯科界もデジタルの時代に突入していると思いますが義歯に関してもしかりです。そうなった時でも何が大切かのキーワードは決して忘れず進めて行く事が重要で、ただキーボードを打てば出来るのではなく今までの基本的な考え方を踏襲しデジタルへの移行もしくは併用が必要かと思っています。今回は今まで行って来た考え方を臨床のケースも含めてお話をしたいと思います。

講師紹介

生田 龍平

いくたりゆうへい RYUHEI IKUTA



- 1959年 生まれ 千葉県出身
- 1980年 東京歯科技工専門学校卒業
- 1980年 納富歯科医院勤務
- 1986年 (株)伊東デンタル研究所勤務
(現伊東口腔病院技工部)
- 1987年 (株)コアデンタルラボ横浜勤務
- 2003年 フェリーチェ開業
- 2010年 リヒテンシュタイン・
イボクラービバデント社にて BPS 受講
- 2012年 (株)フェリーチェ法人化
- 2012年 4月 神奈川歯科大学社会人大学院生
(顎機能回復補綴医学講座)
- 2015年 8月 ボシャート デンタルテクノロジー
マスターコース取得 (スイス)
- 2017年 3月 神奈川歯科大学学位取得
- 2017年 4月～2023年3月
神奈川歯科大学非常勤講師

日本歯科技工士会認定講師

日本補綴歯科学会登録歯科技工士

日本顎関節学会会員

日本デジタル歯科学会会員

横浜歯科臨床座談会会員

JPDA 正会員・認定歯科技工士

ボシャート デンタルテクノロジー、インストラクター



(株)フェリーチェ HP <https://felice-labo.com/company/>